

夏季教職員研修旅行に
海外特別企画を設定
—創立40周年を記念して—
(財)全修協

財団法人全国修学旅行研究会は、平成六年春、全国の高等学校を対象に「全国高等学校の修学旅行実態調査」を実施した。公立学校においては週五日制が月一回実施され、修学旅行のねらい、形態・内容も大きな様変わりを見せている。すなわち、教科の総合学習にとどまらず、人間としての生き方、在り方を学ぶとともに、集団と個のかかわりを重視するものになった。時間・空間の短縮まさに多様化の波に洗われている。また、交通手段の飛躍的な発達と高度成長は新幹線や航空機の利用を急速した。時間・空間の幅を拡大し、海

財団法人全国修学旅行研究会(全修協)では、今年の夏季教職員研修旅行において、例年実施している国内研修旅行のほかに、特別企画として海外コース四个方面を計画し実施する。全修協の研修旅行は、「修学旅行の改善向上」を目指す基本事業として定着している。昭和三十二年の第一回北海道研修旅行以来今日まで、教育関係諸団体の支援を得て、教育委員会やこれら教育諸団体の協賛、後援、助成を受けて毎年継続的に行なわれ、教育関係諸団体の支

究会は、平成六年春、全国の高等学校を対象に「全国高等学校の修学旅行実態調査」を実施した。公立学校においては週五日制が月一回実施され、修学旅行のねらい、形態・内容も大きな様変わりを見せている。すなわち、教科の総合学習にとどまらず、人間としての生き方、在り方を学ぶとともに、集団と個のかかわりを重視するものになった。

その形態・内容では、班別自主活動を中心とした各種体験学習、スポーツ(スキー等)、語学研修、交流と

外修学旅行にも拍車をかけた。このような状況下で、各校は特別活動の主旨を十分に吟味し、創意工夫をこらした修学旅行の改善と創造が急務と考えられる。今回、全国の国・公・私立高等学校を対象に、無作

平成5年度は92%が実施 全国高等学校の修学旅行実態調査から(1)

①⑯交通機関⑰傷害保険⑯他校との同宿⑲宅配便⑳特色②修学旅行に対する意見と、多岐にわたっている。回答校数は、国立10校、

公立全日制392校、公立定期25校、私立123校、計550校

TAP・岐阜・滋賀観光キャンペーンが開幕

(西日本共通と各県別の三種類)を発売中。

3月29日から権原市で

京都建都二千百年に続い

て奈良県権原市は「万葉

の都・藤原京」をテーマに

「藤原京創都三千百年記念

ロマントピア藤原京'95

3月29日から権原市で

運輸省の「90年代観光立

県振興行動計画(略称TA

P90,S)に基づくTAP

岐阜・滋賀観光キャンペー

ンが、両県を舞台に三月一

日開幕した。

愛称は「日本まんなか

」ズは「やまみ素敵さ

岐阜・滋賀、キャットフレ

ダンミ素敵岐阜と滋賀」。

五月末日までの三ヶ月間、JRでは、両県内を自由に乗降できるリーフ

ヤラクターに、両県内各地で様々な催しが行われる。

JRでは、両県内を自由に乗降できるリーフ

「仮面の忍者・赤影」をキ

ャンペーンが開幕

修学旅行の実施状況は、左表のとおりである。



百八やぐら主窟

朱垂木やぐらから千石岩まで戻って、山道を東に向かう。春秋の好シーズンはハイキングコースである。木の根をまだぎ、岩道を少しだけ口に着く。下り道にかかると間もなく左側の山腹に数か所の窓口が見えかねる。ここから覚園寺山門跡の石塔群の出口まで、平子(ひらじ)・杉ヶ谷と呼ばれる谷の左右の傾斜面に大小さまざまのやぐらの口が見えかくれする。その数およそ百五十といわれ、「百八やぐら」の名がつけられた。その中の主な窟には地蔵窟・梵字窟・窟窟。

五輪窟などの名がつけられたり、鎌倉のやぐらのほとんどどの類型をそなえることができるといふ。

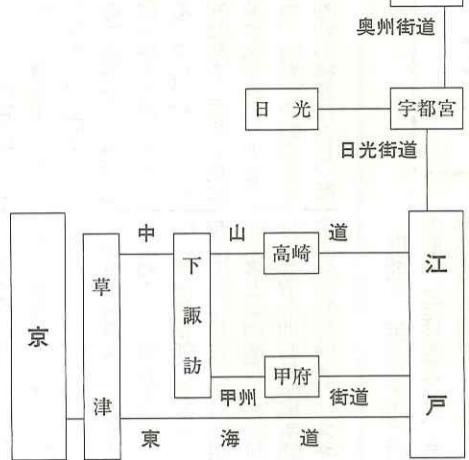
吾妻鏡建保三年九月小条に「十四日 庚(かのえ)午晴 西の冠(こぶし)刻」地震成の冠地震。同時に雷鳴る。亥の時(いかづち)高時をもつて滅してしまった北条氏も、十四代執権

百八やぐら
朱垂木やぐらから千石岩まで戻って、山道を東に向かう。春秋の好シーズンはハイキングコースである。木の根をまだぎ、岩道を少しだけ口に着く。下り道にかかると間もなく左側の山腹に数か所の窓口が見えかねる。ここから覚園寺山門跡の石塔群の出口まで、平子(ひらじ)・杉ヶ谷と呼ばれる谷の左右の傾斜面に大小さまざまのやぐらの口が見えかくれする。その数およそ百五十といわれ、「百八やぐら」の名がつけられた。その中の主な窟には地蔵窟・梵字窟・窟窟。

五輪窟などの名がつけられたり、鎌倉のやぐらのほとんどどの類型をそなえることができるといふ。

吾妻鏡建保三年九月小条に「十四日 庚(かのえ)午晴 西の冠(こぶし)刻」地震成の冠地震。同時に雷鳴る。亥の時(いかづち)高時をもつて滅してしまった北条氏も、十四代執権

江戸の五街道



△五街道▽(1)
すべての道はローマに通す」の昔から、重要な交通路は、都を中心発達していった。鎌倉時代の「鎌倉道」・上の道・中の道・下の道・江戸時代の「五街道」・東海道・中山(なかせん)道・日光街道・甲州街道・奥州街道」、そして現在の東道・日光街道・甲州街道・江戸時代の「五街道」・東海道・中山(なかせん)道・日光街道・甲州街道・奥州街道」、そして現在の東

京を中心とする鉄道・高速道路・江戸時代の「五街道」・東海道・中山(なかせん)道・日光街道・甲州街道・奥州街道」、そして現在の東道・日光街道・甲州街道・江戸時代の「五街道」・東海道・中山(なかせん)道・日光街道・甲州街道・奥州街道」、そして現在の東

クオリティミニガイド

発達の状況、重要度とも、放射状道路より劣る場合が一般的である。

いかに中央集権、一極集中にならざるを得なかつたかは、ここに述べておき、江戸時代に参勤交代などで

江戸時代に参勤交代などで

江戸時代に参勤交代などで